ベルギー入国

　ここ最近あまり活字に触れていなかったせいか、禁断症状が出始めている。

　元々が本の虫だっただけに、何日か本を読まないでいると気が狂ってしまうのだ。

　……というのは冗談だが、何となくもやもやして、スマホを握ればダウンロードしておいた電子書籍を開き、そのまま時間を忘れて読んでしまう。

　気づいたら結構な時間まで夜更かし。

　寝不足になるし、遅くまで寝ていたらそれはそれでよろしくない。

　おそらく野宿というのは大抵の国では法的にグレーゾーンであり、国によってはブラックで警官に罰金をとられることもあるという。

　誰にも見つからずに速やかに撤収できれば、それに越したことはない。

　野宿しなけりゃいいって？

　それができれば苦労しない。

　旅費において最も高くつくのが宿泊費であり、毎日ホテルなんて使ってたら数カ月で財布が干上がってしまう。

　自転車で世界一周なんて短くとも一年はかかるのだから、大抵のチャリダーは野宿するしかない。

　たとえ宿に泊まる金があったとしても、一日で次の町に着くという保証はどこにもない。

　自転車旅において、野宿は避けて通れない宿命の戦いなのである（むろん誰にも邪魔されない場所で酒を飲みながら満天の星空を眺めるなど、野宿ならではの楽しさもあるが、ごく稀）。

$#########$#########$#########$#########$#########

　でもそんな絶好の場所で野宿できることは稀で、大抵は鬱蒼とした森や草ボーボーの空き地で闇にまぎれてコソコソやるのが常であり、時には野生動物に遭遇して叩き起こされたりする。宿に泊まれる金があるなら泊まりたい、というのが正直なところ。

$#########$#########$#########$#########$#########

　目玉焼きの卵割りに今日も失敗。

　やはり私は致命的なまでに料理に向いていないようだ。

　昔の私は努力万能主義、いかなる才能の差も努力次第でひっくり返せると信じて疑わなかった。

　しかしそれは才能の差が小さい者同士の話であり、卵を一発できれいに割れる人間と、百回挑戦してもダリの抽象画のごとき惨状の人間との差は、努力ではいかんともしがたいと思う今日この頃である。

　さて、出発。

　フランス走行も後わずかだ。

　ベルギーとの国境付近に、謎のモニュメント。

　1944年9月2日。

　ドイツが入ってないし、西暦からして第二次世界大戦の連合国側の戦勝記念碑だろうか。

　ベルギーの看板かと思いきや、モミ……何？

　そんなバカな――私はたしかに今、フランスとベルギーの国境付近にいるはず。

　にもかかわらず、看板には見たこともない国名が記されている。

　ここは、どこだ？

　まさか私がのんびり俗世から離れ秘境をさまよっているうちにベルギーで革命が起き、新国家が樹立したとでもいうのか。

$#########$#########$#########$#########$#########

　はたまた、私自身がいつの間にか宇宙人にキャトルミュートされ、記憶を改竄されていたのか、ベルギーとフランスとの国境にいると錯覚するように？

　それとも、ここは地球ではないどこか別の惑星なのか――

$#########$#########$#########$#########$#########

　後で調べたら、ベルギーの町名だった模様。

　ベルギーに入ってから電柱が普通になった。

　9日間走り続けているせいか、疲れがたまってきているような気がする。

　3日前は100km以上走ったし、昨日は70km程度だったけれど、けっこうアップダウンが激しく、登りはほぼ立ち漕ぎだった（アップダウンの激しい70kmは平坦な100kmに相当する負荷だと思う）。

　今日はのんびり行こう。

　いつものんびりな気もするけれど。

$#########$#########$#########$#########$#########

　そう、のんびり、余裕を持って行くことが大切なのだ。

　この旅は誰かとの競争ではないし、自身の記録への挑戦でもない。

　私は旅人であって、アスリートではない。

　旅人にとって重要なのは、どれだけ旅を楽しめたか、充実させることができたか、に尽きる。

$#########$#########$#########$#########$#########

　登りは押し歩き、時には空を眺め、鳥や虫たちの声に耳を傾けてみる。

　彼らの声には、不思議と一定のリズムがある。

　腹が減り、ちょうどいい調理台（笑）が見つかったので、昼飯。

　サイクリングロードを発見。

　ところどころに駐輪場と休憩スペースがあり、フランスよりも設備が充実している印象。

　ベルギーで初の買い物。

　星の王子様……？

　ジャパニーズ・ポテチ、しかも湖池屋。

　ベルギーといえば、やはりこれ。

　隣国だけあってフランスパンも普通に置いてあったのだが、フランスよりも5割くらい高い。

　物価もフランスより高い感じ。

　まあカナダに比べたらまだ安いんだけど。

　ベルギーに入ってから、町の雰囲気が少し変わった気がする。

　欧州の国境って隣の県に行くみたいな感覚とはよく言うけど、同じ国みたいかといえばそうでもない。

　スーパーの店員は英語を話せる人が多いと感じた。

　公用語がたくさんあるせいか、英語が共通語みたいになっているのだろうか。

　スーパーを出、さらに15kmほど山の中の道を走ってそのへんの適当な森にチェックイン。

　欧州来てから森で寝てばかりだなあ。

　2019年7月3日。走行53km。Chimayの町から東に15km離れた道路脇の森にて野宿。